

2024年11月8日
昭和産業株式会社

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の2025年3月期第2四半期（中間期）連結決算は、売上高168,582百万円、営業利益6,867百万円、経常利益8,262百万円となりました。2025年3月期連結業績予想については、売上高346,000百万円、営業利益12,000百万円、経常利益13,000百万円を見込んでおります。

【2025年3月期第2四半期（中間期）連結決算】

当第2四半期（中間期）連結累計期間の我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、金融市場の変動リスク、長期化する不安定な国際情勢などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立90周年を迎える2025年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、3rd Stage「中期経営計画23-25」を2023年4月にスタートし、基本コンセプト『SHOWAの“SHIN-KA”宣言～90年、そしてその先へ～』を掲げ、新たな財務指標とともに5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各施策を推進しております。

当中間連結会計期間の経営成績は、連結売上高は168,582百万円と前年同期に比べ7,000百万円（4.0%）の減収となりました。営業利益は6,867百万円と前年同期に比べ485百万円（6.6%）の減益、経常利益は8,262百万円と前年同期に比べ295百万円（3.5%）の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は7,586百万円と前年同期に比べ1,856百万円（32.4%）の増益となりました。

【2025年3月期連結業績予想】

第3四半期以降も不安定な国際情勢や為替の動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2024年5月13日に公表した2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

以上